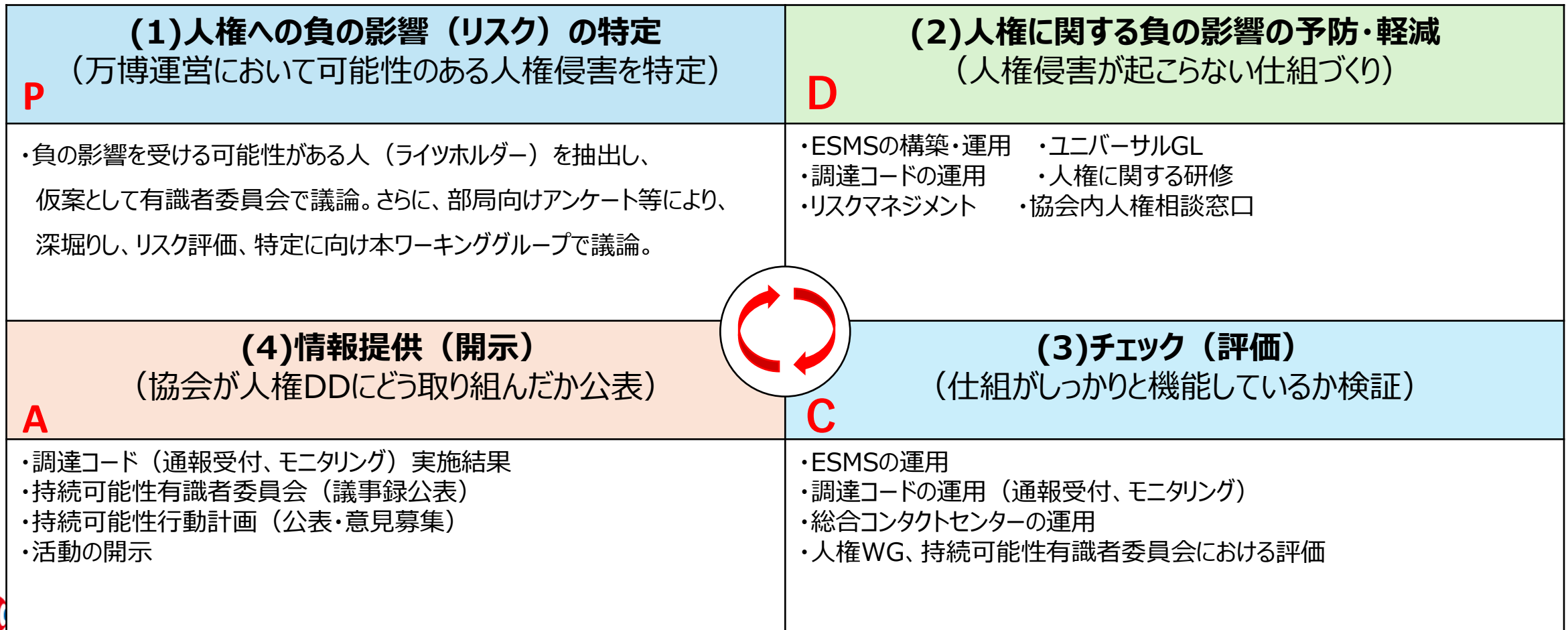


人権デュー・デリジェンス【事業が及ぼす負の影響について】



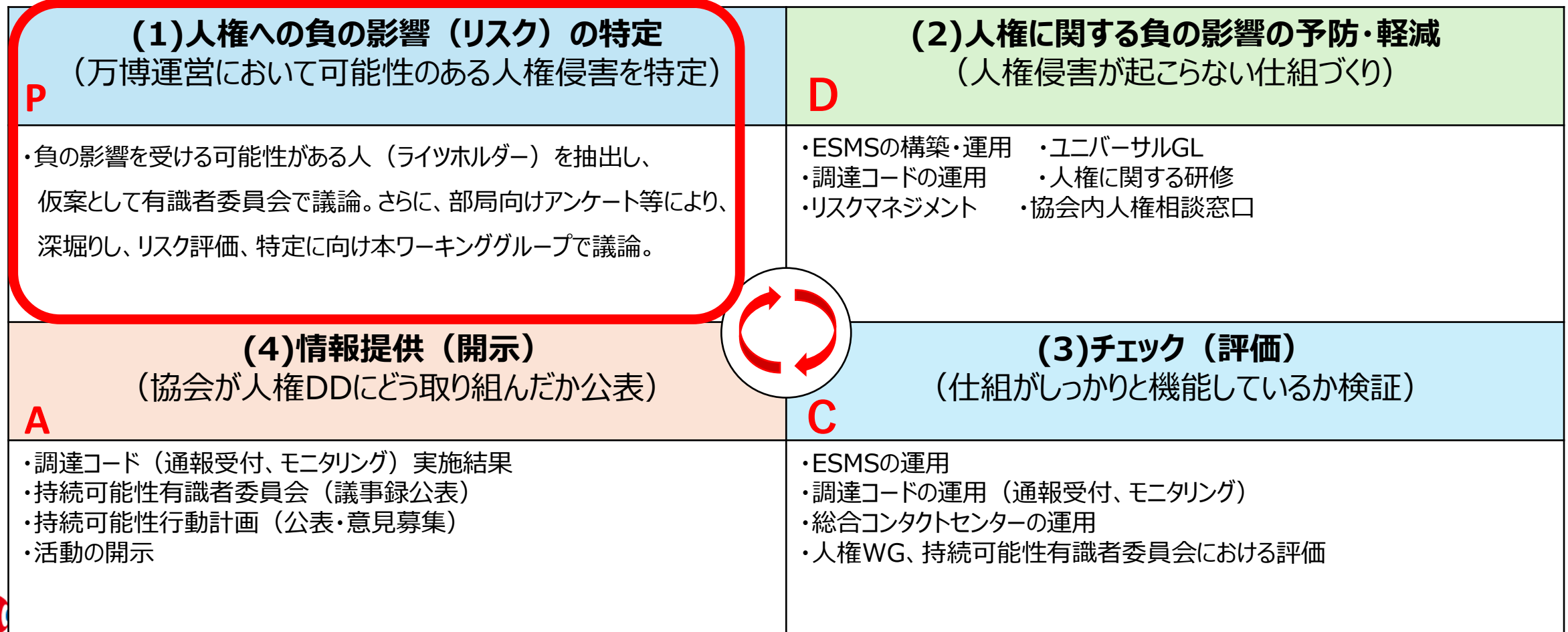
人権DD（デュー・ディリジェンス）の実施

事業運営を行うなかで、人権侵害リスクの有無を特定し、予防や軽減の策を講じ、結果を検証し、公表するまでの一連のプロセスのこと



人権DD（デュー・ディリジェンス）の実施

事業運営を行うなかで、人権侵害リスクの有無を特定し、予防や軽減の策を講じ、結果を検証し、公表するまでの一連のプロセスのこと





大阪・関西万博における人権への「負の影響」(案)

対象者(ライツホルダー)		主な人権課題				
1 職場、 日常業務	協会職員、関係者	労働環境・ ハラスメント防止	安全衛生	給与・労働時間	非差別	
2 会期中、 博覧会会場 等	協会職員、運営スタッフ	安全衛生	労働環境・ ハラスメント防止	非差別	結社の自由、 団体交渉権	プライバシー
	ボランティア					
	公式参加者、出展者の職員	給与・労働時間	安全衛生	労働環境・ ハラスメント防止	非差別	結社の自由、 団体交渉権
	来場者	移動・旅行の自由	非差別	アクセシビリティ	表現・集会の自由	プライバシー
	会場周辺の住民(納税者)	腐敗・贈収賄防止	公害の防止	表現・集会の自由	公共行為への 参加(デモ、政治参加)	
	NGO職員	表現・集会の自由	公共行為への 参加(デモ、政治参加)			
	メディアに属する人	表現、報道の自由				
3 調達、 サプライ チェーン	公式参加者、出展者、サプライ チェーンに係る事業者、労働者、 地域住民など	居住権	強制労働 (人身売買)	児童労働	安全衛生	非差別
		労働環境・ ハラスメント	給与・労働時間	外国人、 移住労働者	結社の自由、 団体交渉権	
4 報道・広告 等	報道・広告等に接する人	非差別	プライバシー	アクセシビリティ		

- ・協会職員等が当事者となる腐敗・贈収賄については地域住民(納税者)が対象者(ライツホルダー)となる
- ・サプライチェーン上の人権については、調達コードにて人権尊重を求める枠組を設けている
- ・発生可能性が高いと想定される「負の影響」は、人種、障がい、性別等による差別、安全衛生(作業環境)・労働時間(長時間労働)など

人権DDスケジュール（案）

		2023年				2024年				2025年				
		Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2	Q3		
											 ●万博開幕			
人権DDの実施	人権WG					☆第1回	☆第2回	☆第3回				☆第4回	☆第5回	☆第6回
		☆「行動計画第3版公表」												
	人権方針	 有識者のご助言を得ながら策定 ★承認(第10回持続可能性有識者委員会) ★外部公表												
	教育・研修	★「ビジネスと人権」外部セミナー ★「ビジネスと人権」協会職員向けセミナー				☆LGBTQ研修 ☆「ビジネスと人権」協会職員向けセミナー ☆アクセシビリティ研修								
	負の影響特定					☆協会部局向けアンケート →評価、追加ヒアリング →特定								
	予防・軽減					リスク高事案から対策を講じる ⇔ <有識者とも適宜相談の上>								
救済・是正	 協会内相談窓口、総合コンタクトセンターによる受付・対応 ☆グリーバンス窓口設置(予定)													

※調達コードWGにて人権課題が討議された場合、適宜本WG内で共有していく。

人権DD これまでの主な取組

人権方針の周知・徹底

- ・協会ホームページ（日・英）、参加者ポータル（日・英・仏）への掲載
- ・民間パビリオン出展者会議、協会理事会（今月下旬）等での周知
- ・関係先への周知
→今後も引き続き周知・徹底に努める

外部セミナー及び研修

- ・「ビジネスと人権」事業者向けセミナーの開催（近畿経済局と共同開催）
- ・協会内職員向け研修
→本年も計画中（LGBTQなど、個別テーマも実施）

人権DD 1st STEP

【負のリスク特定】

- 協会内各部局向けアンケートを実施（6月～7月）
- リスク評価と対応策の取りまとめ（8～9月）→次回WG（9月下旬予定）で報告
→並行して、重要なステークホルダーとの対話も実施予定

